

令和8年度 第1回 江別市民健康づくり推進協議会 資 料

報告事項

(1) (2) 令和7年度 保健事業・健康づくり推進事業報告 及び 令和8年度 保健事業・健康づくり推進事業計画

- ・ 組織図及び事務分掌 P 1
- ・ 保健事業施策体系図 P 2
- ・ えべつ市民健康づくりプラン21体系図 P 3
- ・ 健康づくり・成人保健体系図 P 4
- ・ 健康づくり推進事業一覧 P 5～ 6
- ・ 成人保健事業一覧 P 7～ 8
- ・ 母子保健体系図 P 9
- ・ 母子保健事業一覧 P 10～13

(3) 第2次江別市自殺対策計画に基づく取組内容について P 14～15

組織図及び事務分掌

健康福祉部長

(令和8年4月1日現在)

健康推進室長

保健センター長

主幹(事業調整担当)

(保健センター長事務取扱)

管理係長

主査(事業担当)2名

係員1名

参事(健康づくり・保健指導担当)

主幹(健康づくり・保健指導担当)

(健康づくり・保健指導担当参事事務取扱)

主査(健康づくり・保健指導担当)3名

主査(健康づくり・保健指導担当) (健康推進担当主査兼務)

主査付 ①

保健師12名

看護師1名

管理栄養士1名

参事(母子保健担当)

主査(母子保健担当)4名

(健康づくり・保健指導担当主査兼務)

参事(健康推進担当)

(健康推進室長事務取扱)

主査付 (①兼務)

参事(健康推進担当)

(健康づくり・保健指導担当参事兼務)

主査(健康推進担当)

主査(健康推進担当)3名

(健康づくり・保健指導担当主査兼務)

主査付 (①兼務)

参事(地域医療担当)

主査(地域医療担当)

主査(地域医療担当)

(夜間急病センター総務担当主査兼務)

※母子保健担当は、子ども家庭部子育て支援課子ども家庭支援担当を兼務

◎健康推進室は、市民の主体的な健康づくり活動を支援し、健康の保持及び推進を図ります。

参事・主幹・主査(健康づくり・保健指導担当)

- (1) 健康づくり事業に関する事。
- (2) 健康教育、健康相談及び健康診査(それぞれ母子保健に係るものを除く)に関する事。
- (3) 機能訓練に関する事。
- (4) 訪問指導(母子保健に係るものを除く)に関する事。
- (5) 栄養指導(母子保健に係るものを除く)に関する事。
- (6) 予防接種に関する事。
- (7) 健康づくり組織の育成に関する事。
- (8) 国民健康保険の特定健診及び特定保健指導に関する事。
- (9) 後期高齢者医療の健康診査に関する事。
- (10) 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施に関する事。
- (11) その他保健事業に関する事。

参事・主査(母子保健担当)

- (1) 母子保健に関する事。
- (2) 予防接種に関する事。

主幹(事業調整担当)

- (1) 保健事業に係る総合調整に関する事

管理係

- (1) 健康管理意識等の啓発に関する事。
- (2) 医療及び保健関係機関との連絡調整に関する事。
- (3) 健康診査に関する事。
- (4) 予防接種及び感染症予防対策に関する事。
- (5) 国民健康保険の特定健診及び特定保健指導に関する事。
- (6) 後期高齢者医療の健康診査に関する事。
- (7) 国民健康保険及び後期高齢者医療に係る保健事業及び健康づくりの啓発に関する事。
- (8) 室内の庶務に関する事。

※管理係主査(事業担当) (3)～(7)の業務に関する事。

参事・主査(健康推進担当)

- (1) 健康づくりの総合調整に関する事。
- (2) 健康づくりの推進に関する事。

参事(地域医療担当)

- (1) 地域医療連携に関する事。
- (2) 救急医療に関する事。

保健事業施策体系図（令和8年度）

政策	基本目標	基本方針	事務事業等	活動内容
福祉・保健・医療	みんなが支え合う、いつまでも元気に暮らせるまち	健康づくりの推進と地域医療の安定・安定した社会保障制度運営の推進	◆健康増進活動の推進	
			健康づくり推進事業	・地域健康づくり推進員事業・自動血圧計等設置事業 ・健康づくり講演会 ・健康づくりサポーター講座 ・食生活改善推進員養成講座・再講習 ・ふれあいレストラン ・地区健康教育・健康相談・こころと体の健康相談 ・ゲートキーパー研修会 ・小学校喫煙予防教室・中学校生活習慣病予防教室 ・野菜摂取推進のための普及啓発 ・野菜摂取レベル測定器を活用した啓発 ・健康フェスタの開催 ・生命保険会社との連携協定に基づく健康づくり・市民サービスの向上
			◆疾病予防・重症化予防の促進	
			健康管理システム運用事業	・予防接種・各健診データのシステム管理
			成人・高齢者検診推進事業	・胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん検診 ・肝炎ウイルス検診・骨粗しょう症検診 ・エキノコックス症検診・歯周病検診 ・特定健診・短期人間ドック・ミニドック・脳ドック（国保加入者） ・健康診査（生活保護受給者） ・自己採取HPV検査 ・後期高齢者健康診査 ・後期高齢者歯科健康診査
			がん検診等クーポン事業	・子宮頸がん、乳がん検診、肝炎ウイルス検診の対象年齢に対する無料クーポン
			成人・高齢者保健指導事業	・生活習慣病予防相談・保健指導 ・特定保健指導（国保加入者） ・糖尿病性腎症重症化予防プログラム（国保加入者） ・高齢者保健・介護予防一体的実施推進事業
			成人・高齢者予防接種	・高齢者等インフルエンザワクチン ・高齢者等肺炎球菌ワクチン ・高齢者等新型コロナウイルスワクチン ・高齢者帯状疱疹ワクチン ・成人男性の風しん追加的対策の特例措置
			感染症予防管理	・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく消毒
			骨髄ドナー助成事業	・骨髄等を提供するために通院、入院等をした方に対する助成
子育て・教育	子どもたちが元気に育ち、笑顔で学ぶ、未来あるまち	子育て環境の充実	◆母子保健の充実	
			乳幼児健康診査推進事業	・新生児聴覚検査・1か月児健康診査 ・4か月児健康診査・股関節脱臼検査 ・10か月児健康診査・1歳6か月児健康診査 ・3歳児健康診査・乳幼児発達健康診査 ・発達支援研修会
			母子健康教育・相談事業	・プレパパ・プレママ向けの育児体験 ・離乳食教室 ・健診事後教室（どんぐりクラブ）・妊婦・親子健康相談 ・随時健康相談・地区健康教育
			歯科相談	・歯科相談（フッ化物塗布）・妊婦歯科健診
			予防接種	・ロタ・ヒブ・小児用肺炎球菌・B型肝炎 ・5種混合（DPT-IPV-Hib）・不活化ポリオ・BCG ・麻疹・風疹混合（MR）・水痘・日本脳炎 ・2種混合（DT）・HPV（ヒトパピローマウイルス）・妊婦RSウイルス
			不妊治療等助成事業	・特定不妊治療と併用した先進医療に要した費用の補助
			妊産婦健康診査	・母子健康手帳の交付 ・妊婦一般健康診査・超音波検査 ・産婦健康診査 ・多胎妊娠の妊婦健康診査費用補助 ・低所得の妊婦に対する初回産科受診料の助成
			妊娠・出産等包括支援事業	・妊娠届出時の専門職による全数面談・産後ケア事業 ・地域あそびのひろばで親子健康相談・個別ケア会議 ・妊婦相談・妊婦のための支援給付、妊婦等包括相談支援事業（えべつ☆うえるかむ赤ちゃん事業） ・妊産婦訪問指導・新生児訪問指導・未熟児訪問指導 ・乳幼児訪問指導・養育支援スクリーニング

えべつ市民健康づくりプラン21(第3次) 体系図(目標と取組)

基本的な方向	分野	行動目標	市や関係機関の取組
みんなが支え合う、いつまでも元気に暮らせるまち	望ましい生活習慣の実践	栄養・食生活	- 母子保健事業での栄養指導や保健指導、相談 - 食育活動の推進・充実(保育園、幼稚園、学校など) - 成人保健事業での望ましい食生活の普及啓発、情報発信 - 保健事業と介護予防事業での低栄養予防事業 - 食に関する情報や話題の提供 - 食生活改善活動の推進 - 野菜の摂取量増加に向けた取組 - 中学校での生活習慣病予防教室の実施
		身体活動・運動	- 母子保健事業や子育て支援における遊び方や運動の大切さの普及、啓発 - スポーツ・運動を通じた健康づくりと生涯スポーツの推進 - E-リズムの普及、啓発 - スポーツ・運動に取り組みやすい環境の整備、充実 - 介護予防に向けた元気アップ体操や通いの場におけるE-リズムの普及
		休養・睡眠・こころの健康	- 母子保健事業、学校教育における子ども達の早寝早起き等の生活改善の推進 - 産後うつ等の早期発見・産婦健康診査・相談支援の実施 - こころの健康についての理解と関心を深める講座や講演会 - 相談機関の周知や身近な相談者の育成、資質向上 - ゲートキーパー養成研修の推進 - スマホ等の利用の家庭でのルールづくりの促進
		アルコール・たばこ	- 母子保健事業における指導や相談の強化 - アルコール、喫煙の害についての知識の普及、啓発 - 小学校での喫煙予防教室の実施 - 受動喫煙防止に向けた啓発 - 禁煙外来の情報提供や主体的な禁煙の取組支援
		歯と口腔	- 歯や口への関心を持ち、歯みがき習慣をつけることを普及、啓発 - 介護予防事業での歯と口の健康の推進 - 歯科保健に関する情報の発信と普及 - 保育園、小中学校でのフッ化物洗口の実施検討 - 定期的な歯科受診の普及・啓発(歯周病検診、後期高齢者歯科健診の個別勧奨)
	生活習慣病およびフレイル予防	がん	- がん予防や早期発見、治療についての情報提供・啓発 - 検診を受診しやすい環境整備(商業施設からの送迎、土日の集団検診、託児付検診など) - がん検診受診勧奨と精密検査未受診者の対策 - 小中学校での講話
		循環器病・糖尿病	- 乳幼児期からの生活習慣病予防に向けた保健指導 - 子育て世代の健康管理の推進 - 特定健康診査、後期高齢者健診、特定保健指導等を通じた高血圧・糖尿病等の重症化予防 - 家庭血圧測定の普及 - 必要な治療の継続と中断の防止
		フレイル	- 後期高齢者健診の受診しやすい体制整備と保健指導の充実 - フレイルの認知度向上とフレイルチェックによる早期対応 - 食生活改善推進員によるふれあいレストランの開催
健康づくり推進のための環境整備	ヘルスリテラシーの向上(知識の普及と啓発)		- 母子保健事業での保護者への保健指導 - 講演会や学習会、地域の出前講座などによる普及、啓発 - 幼稚園、保育園、学校、保健、医療、福祉など関係団体、機関との連携による情報発信 - 命や性に関する知識の普及 - 感染症や予防接種に関する情報発信と知識の普及、啓発
	健康増進のための基盤整備		- 健康づくり事業の情報発信 - 地域健康づくり推進員や健康づくりサポーター、江別市食生活改善協議会の活動推進 - 各種健康づくり事業の実施 - 子育て支援センターや地域あそびのひろばの利用促進 - 通いの場の活動支援
	自然に健康になれる環境づくり		- すこやかロードなどウォーキングに取り組みやすい情報の発信 - ベジタブルライフ協力店との連携による野菜を食べる環境づくりと野菜摂取推進 - デジタル技術の活用に向けた情報提供 - 健康づくりに取り組む市内企業等との連携

健康づくり・成人保健体系図（令和8年度）

みんなが支え合う、いつまでも元気に暮らせるまち

望ましい生活習慣の実践 生活習慣病およびフレイルの予防 健康づくり推進のための環境整備

一人ひとりが、栄養・運動・休息のバランスのとれた生活習慣を自覚した健康づくりができる。

〇市で行われる保健サービスがわかる

広報えべつ
SNS
ホームページ

〇健康について考える機会がある

講演会
地区健康教育
出前健康教育 (通いの場、高齢者クラブ、自治会、事業所等)

〇困ったときに気軽に相談できる

定例健康相談	地区健康相談
訪問指導	
生活習慣病予防相談 (へるすあっぷ相談)	
こころと体の健康相談	

〇食生活改善推進員による食を通じた健康づくり推進事業

ふれあいレストラン、地域ふれあいレストラン、ふれあい料理教室

〇疾病の早期発見・治療や健康づくりの手段として検診が利用できる

胃がん検診
大腸がん検診
肺がん検診
子宮頸がん検診
乳がん検診
骨粗しょう症検診
肝炎ウイルス検診
江別市国保特定健康診査
後期高齢者健康診査
後期高齢者歯科健康診査
健康増進法による健康診査
歯周病検診
エキノкокクス症検診
自己採取HPV検査

〇こころの健康を大切にする

こころの健康づくり講演会
ゲートキーパー研修会
相談カード等による啓発

〇予防接種により疾病予防ができる

高齢者インフルエンザ予防接種
高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種
高齢者新型コロナウイルス予防接種
高齢者带状疱疹ワクチン予防接種
成人男性への風しんの追加的対策

〇自らの健康づくりができる

喫煙予防教室（小学校）
生活習慣病予防教室（中学校）
E-リズム
特定保健指導
生活習慣病予防相談（結果説明会）
糖尿病性腎症重症化予防プログラム
低栄養防止・生活習慣病重症化予防（個別支援）
健康状態不明者支援
フレイルチェック
えべつ健康づくりサポーター講座
野菜摂取の推進事業※
健康フェスタ※

〇地域健康づくり推進員による地域健康づくり推進事業

健康教室
ウォーキング教室等事業
E-リズム体験事業

保健活動の基盤整備

江別市民健康づくり推進協議会 地域健康づくり推進員 食生活改善協議会 自殺対策推進本部
関係機関との連携（地域包括支援センター、社会福祉協議会、民生児童委員、自治会等）

※主に健康推進担当で企画・実施している事業

健康づくり推進事業（令和8年度計画と令和7年度実績）

項目	事業名	事業内容と目標	令和8年度計画 (令和7年度実績)
健康情報の提供	健康づくり情報	市民の健康づくりを支援するため、健康づくり情報を発信する。 「えべつ市民健康づくりプラン21(第3次)」の普及に努める。	ホームページ、広報、SNS (広報健康ひとロメモ掲載 3回)
健康づくり活動の推進	E-リズム推進	市民の健康づくりのため、音楽に合わせた有酸素運動を行う。	市民向け講習 6回 180人 (6回 177人) 出前健康教育等 20回 300人 (12回 184人)
	野菜摂取啓発活動	野菜摂取レベル測定器（ベジチェック）や野菜計量体験の実施。また、啓発媒体やレシピの作成と配布により、野菜摂取の推進を図る。	保健事業・公共施設・各種イベントにてベジチェック測定や野菜計量体験を実施
	健康フェスタの開催	市民の健康意識高揚のため実施。	1回 500人 (1回 437人)
	講演会	生活習慣病の予防、こころの健康づくり（メンタルヘルス、自殺予防）、栄養・食生活等の講演会を開催する。	生活習慣病の予防（栄養・食生活等）講演会 1回 100人 隔年実施（R7は開催なし） こころの健康づくり・自殺予防講演会 回 150人 (1回 93人)
こころの健康づくり (自殺予防対策)	ゲートキーパー研修会	自殺対策に関わる人材育成を目的に、市民や多職種向けゲートキーパーについて普及啓発する。	4回 120人 (4回 98人)
	相談先の周知	適切な相談先の明確化及び周知のため、名刺サイズの相談先一覧カードを公共施設や出前事業などで配布する。	140箇所 (140箇所)
市民参加による健康づくりの推進	地域健康づくり推進事業	市民の健康づくりを目的に市内のボランティア団体等が地域健康づくり推進員と共に、講演会、講習会、研修会などの健康づくりの意識の高揚と知識の普及に関する事業を実施する。	地域健康づくり推進事業補助金 6団体 57回 1150人 (7団体 52回 919人)
	地域健康づくり推進員育成事業	住民の身近なところで、地域の健康づくり事業の推進者・相談者として活動してもらう健康づくり推進員の育成のために連絡会を実施する。	連絡会3回 リーダー会議1回 計4回 (連絡会3回 リーダー会議1回 計4回)
地域高齢者の健康づくり	出前健康教育	高齢者クラブ、愛のふれあい事業、通いの場等に属する方等を対象に、健康で生き生きとした生活を送れるよう、ミニ講話で正しい健康知識を普及する。	50回 1,100人 (40回 771人) (再掲 E-リズム 13回 182人)
	ふれあいレストラン 地域ふれあいレストラン・料理教室	江別市食生活改善推進員が高齢者に対し、料理教室やミニ講話、レクレーションを交えながら、健康推進活動を行う。	6回 140人 (4回 121人)

項目	事業名	事業内容と目標	令和8年度計画 (令和7年度実績)
(教室・地区健康教育)	喫煙予防教室	小学校高学年を対象に、喫煙の害について講話等を実施し、未成年者の喫煙を防止する。	5回 400人 (6回 354人)
	生活習慣病予防教室	中学校において、生活習慣病予防と望ましい生活習慣についての講話を実施する。	8回 976人 (8回 797人)
	えべつ健康づくりサポーター講座	地域ぐるみで健康増進を实践することの大切さなどを学び、地域にそれらを伝え、広げてくれるサポーターを養成する。	3回 90人 (3回 66人)
	地区健康教育	自治会や団体等の依頼に応じ、地域に出向いて健康講話、調理実習等を実施。希望により健康測定機器を活用する。	700人 (16回 176人) (再掲 E-リズム 8回 81人)
(食生活健康改善)	食生活改善推進員養成講座	栄養・食生活を中心に健康の維持・増進に関する全般的な知識を講義や実習を通じて学ぶ食生活改善推進員を養成する。	6回 180人 隔年実施 (R7は開催なし)
	食生活改善推進員再講習	食生活改善推進員として食生活改善活動を地域へ展開するための再講習を実施する。健康づくり事業の理解、協力を支援する。	8回 160人 (8回 140人)
健康相談	随時相談	来所・電話により随時実施。	280人 (257人)
	地区健康相談	地域に出向き健康相談を実施。	32回 200人 (24回 128人)
	こころと体の健康相談	主にこころの健康づくり・メンタル等の相談を、来所・電話により随時実施。	150人 (127人)
	栄養に関する相談	来所・電話による栄養相談を実施。※ベジチェック後の栄養相談を含む。	110人 (92人)

成人保健事業一覧（令和8年度計画と令和7年度実績）

項目	事業名	検査内容	検診方式	回数	令和8年度計画 (令和7年実績)
成人検診	胃がん検診	胃のX線検査または胃内視鏡検査	集団検診	64回	2,902人
			個別検診	随時	(2,661人 6.4%)
	大腸がん検診	便中の潜血反応検査	集団検診	72回	6,119人
			個別検診	随時	5,832人 14.0%)
	肺がん検診	胸部X線撮影	集団検診	71回	5,414人
			個別検診	随時	(4,942人 11.8%)
	子宮頸がん検診	子宮頸部の内診、細胞診 必要時、子宮体部の細胞診	集団検診	51回	2,427人
			個別検診	随時	2,383人 16.9%)
	乳がん検診	マンモグラフィ（乳房X線検査）	集団検診	52回	2,446人
			個別検診	随時	2,193人 17.8%)
	骨粗しょう症検診	指、腕、腰のX線検査、 または踵の超音波検査	集団検診	42回	165人
			個別検診	随時	(158人)
	肝炎ウイルス検診	HBS抗原検査 HCV抗体検査 HCV核酸増幅検査	集団検診	72回	1,060人
			個別検診	随時	(C型 847人)
	特定健診 (江別市国保加入者)	問診、身体計測、血圧測定、 尿検査、血液検査、 心電図検査等	集団検診	72回	5,054人
			個別検診	随時	(4,551人 29.9%) ※R6年実績
成人検診	後期高齢者健康診査	問診、身体計測、血圧測定、 尿検査、血液検査、 心電図検査等	集団検診	72回	2,540人
			個別検診	随時	(2,608人 13.4%)
	後期高齢者歯科健康診査	問診、口腔内検査、口腔機能評価	個別検診	随時	420人 (344人)
	健康診査 (生活保護受給者等)	問診、身体計測、血圧測定、 尿検査、血液検査、 心電図検査等	集団検診	72回	31人
			個別検診	随時	(26人)
	歯周病検診	問診、口腔内診査	個別検診	随時	205人 (78人)
	エキノコックス症検診	血液検査（5年に1度） 対象：小学校3年以上	集団検診	22回	94人 (93人)
	自己採取HPV検査	HPV（ヒトパピローマウイルス）の感染の有無を自己採取キットで検査	個別検査	随時	331人 (326人)

項目	事業名	事業内容と目標	令和8年度計画 (令和7年実績)
生活習慣病予防等	特定保健指導 (江別市国保加入者)	江別市国保特定健診受診者における特定保健指導対象者に特定保健指導を実施。	229人 (189人) ※R6年実績
	生活習慣病予防相談 (江別市国保結果説明会)	江別市国保特定健診受診者で主に受診勧奨値以上の者(特定保健指導対象者を除く)に保健指導を実施。	516人 (598人) ※R6年実績
	糖尿病性腎症 重症化予防プログラム	江別市国保特定健診受診者で糖尿病が重症化するリスクの高い治療中断者・医療機関未受診者に、適切な受診勧奨、保健指導を実施。また、糖尿病で通院する患者のうち重症化するリスクの高い者に、医療機関と連携して保健指導等を実施。	135人 (119人) ※R6年実績
	フレイルチェック	通いの場等における後期高齢者の質問票を活用した健康状態の把握を実施。	1,200人 (31回 610人)
	低栄養防止・生活習慣病重症化予防(個別支援)及びフレイルチェック事後支援	後期高齢者健康診査受診者で低栄養または血圧値・血糖値等が受診勧奨値のうち重症度の高いレベルの者に保健指導を実施。 また、フレイルチェックにて事後支援対象者へ保健指導を実施。	延345人 (延374人)
	健康状態不明者支援	後期高齢者医療制度加入者のうち、抽出年度・抽出前年度の健診受診、医療受診、介護認定のいずれもない者の健康状態を把握し、適切な医療・介護サービス等や高齢者保健事業へ接続する支援を実施。	実250人 (実131人)
	成人訪問	精神疾患、要指導者(生活習慣病重症化予防等)、閉じこもり状態、その他支援を必要とする者に家庭において保健指導を実施。	実350人 (実356人 延397人)
予防接種	高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種	疾病予防のためのワクチン接種(医療機関 通年実施) 65歳の方、60～64歳で心臓・腎臓・呼吸器に障がいのある方。	843回 (472回)
	高齢者带状疱疹ワクチン予防接種	疾病予防のためのワクチン接種(医療機関 通年実施) 65歳の方、60～64歳でヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がいのある方。 ※経過措置として、その年度内に70、75、80、85、90、95、100歳となる方も対象(令和7年度のみ100歳以上の方は全員対象)	3,052回 (3,230回)
	高齢者インフルエンザ予防接種	疾病予防のためのワクチン接種(医療機関・10月から1月予定) 65歳以上の方、60～64歳で心臓・腎臓・呼吸器に障がいのある方。	20,848回 (19,014回)
	新型コロナワクチン予防接種	疾病予防のためのワクチン接種(医療機関 10月から3月予定) 65歳以上の方、60～64歳で心臓・腎臓・呼吸器に障がいのある方。	6,084回 (2,853回)
	風しん(5期) 予防接種	疾病予防のためのワクチン接種(医療機関・通年実施)昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性、かつ令和7年3月31日までに抗体検査を実施した結果、抗体価が不十分であった方に限る。 ※時限措置として令和9年3月31日まで	50回 (14回)

母子保健体系図（令和8年度）

みんなが支え合う、いつまでも元気に暮らせるまち

妊産婦や乳幼児の健康の保持・増進

切れ目のない母子保健体制の整備

健康づくりを中心にした活動

○安心して出産・子育てができる

《妊娠・出産》

《子育て》

妊婦等包括相談支援事業（伴走型相談支援）

（うえるかむ面談）（妊娠8か月面談）（はぐくむ面談）（随時相談・情報提供）

母子健康手帳交付
妊娠届出時面談
セルフプランの作成
妊婦健康診査・ 多胎妊娠の妊婦健診費用補助
妊婦訪問
プレママ・プレパパ向けの育児体験
健康相談・電話相談
妊婦歯科健診
産婦健康診査
産婦訪問・ 赤ちゃん訪問・未熟児訪問
不妊治療等助成事業
低所得の妊婦に対する 初回産科受診料支援事業



絵本ふれあい事業
離乳食教室 (初めてコース・ステップアップコース)
妊婦・親子健康相談
健康相談・電話相談
歯科相談・フッ素塗布
地区健康教育
乳幼児訪問指導・個別支援
産後ケア事業
地域あそびのひろばで親子健康相談

養育支援・スクリーニング	個別支援・訪問指導
	関係機関連絡 (養育者支援保健・医療 連携システム事業等)
	合同ケース会議
	養育支援研修会

健全発達を促す活動

○順調な発達が保証される
○異常が早期に発見される

○子どもの発育・発達に合った
適切な援助がうけられる

○適切な療育により
発達が促される

新生児聴覚検査
1か月児健康診査
4か月児健康診査
股関節脱臼検査
乳幼児精密検査
10か月児健康診査
1歳6か月児健康診査
3歳児健康診査

要観察



経過観察児電話支援
健康診査再検査
乳幼児訪問指導
1歳6か月児事後教室（どんぐりクラブ）
乳幼児発達健康診査
発達支援研修会



自立支援協議会子ども部会

疾病予防に関する活動

○予防接種により疾病予防ができる

予防接種関係者会議	MRワクチン
ロタウイルスワクチン	水痘ワクチン
B型肝炎ワクチン	日本脳炎ワクチン
小児用肺炎球菌ワクチン	DT（ジフテリア・破傷風）ワクチン
5種混合ワクチン (ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ・ヒブ)	HPV（ヒトパピローマウイルス）ワクチン
BCGワクチン	妊婦RSウイルスワクチン

地域子育て支援活動

子育て関係機関連絡調整
家庭児童対策地域協議会 ケース会議 実務者会議
個別ケア会議

母子保健事業一覧（令和8年度計画と令和7年度実績）

項目	事業名	対象者（児）	事業概要と目標	令和8年度計画 (令和7年度実績)
妊娠届出	母子健康手帳の交付 *妊娠時面談については、妊婦等包括相談支援事業(伴走型相談支援)①うえるかむ面談の欄	妊娠届出のあった妊婦	妊娠届出をした妊婦に対して母子手帳を交付する。また、届出時に、保健師、助産師等の専門職が保健指導及び相談しやすい関係づくりのための面談を実施し、出産・育児に向けた見通しを持てるよう必要な支援を行う。	534人 (492人)
訪問指導	(1)赤ちゃん訪問	新生児・乳児および産婦（R6から全戸訪問）	・子どもの健やかな成長のため、異常の早期発見と発育、発達を促す保健指導を行う。 ・産褥期の異常の早期発見と回復にむけての保健指導を行い、産婦の健康の保持・増進を図ると共に育児不安の軽減のための支援を行う。	554組 1,108人 (563組 1,139人)
	↳未熟児訪問指導(再掲)	未熟児養育医療の対象となった児・未熟性に基づく異常が認められた児等		17組 34人 (14組 31人)
	(2)乳幼児・妊婦訪問指導 ①発達支援訪問 ②育児支援訪問 (出張育児体験含む)等	乳幼児健診及び健康相談の結果から、家庭での継続指導を要する乳幼児や養育困難にて支援が必要な乳幼児期の親子等	・子どもの発育・発達を促すための保健指導を実施。 ・保護者の健康の保持・増進を図ると共に養育困難感の軽減のための支援を行う。	実101人 延191人 (実116人 延205人)
健康教育	(1)プレママ・プレパパ向け育児体験	妊婦およびその家族（パートナー）	妊婦とその家族が、妊娠・出産・育児に関する知識や手技を獲得し、健康かつ安心して育児ができるよう、実習や講話等を実施する。	28回 158組 304人 (111組 217人)
	(2)①離乳食教室 初めてコース	4か月児健診が終わった離乳開始時期の保護者と子	乳児期の離乳のすすめ方について理解・相談の機会を得る。	12回 110人 (12回 102人)
	②離乳食教室 ステップアップコース	2回食、3回食へとお考えの保護者と子		12回 100人 (12回 72人)
	(3)地区健康教育	市内保育園・幼稚園児 子育て支援センター利用者等	むし歯予防、食生活、年齢に応じたかわり方、病気の手当てなどの知識を講話や体験を通じて得てもらい、子どもの健やかな成長と保護者の育児を支援する。	4回 120人 (6回 290人)
健康相談	(1)幼児発達相談 ①どんぐりクラブ	1歳6か月児～ 発育・発達を促すために、専門的な相談・指導が必要な幼児	言語・社会性の発達等に遅れの有る児とその親に対し小集団指導・親同士の交流を行う事で、育児不安を軽減し、健全な親子関係を培う。	24回 218名 (23回 215名)
	(2)一般健康相談 ①妊婦・親子健康相談 ②随時来所相談 ③随時電話相談 ④地区健康相談 ⑤地域あそびのひろばで健康相談	思春期から妊娠・出産・育児中の各期にある親と子	①～④ 身体計測、健康・育児・栄養相談等により、親が子の成長を確認し、不安を軽減する事で、安心して育児できるよう支援する。 ⑤は上記の相談の他、小児科医、歯科衛生士をスタッフに加え、地域あそびのひろば3か所にて月1回実施する。	① 12回 210人 (12回 196人) ②③④ 163人 (231人) ⑤ 36回 412件 (35回 442件)
	(3)歯科相談・フッ素塗布	就学前までの児（フッ素は1歳～）	歯科相談、フッ素塗布をとおり、う歯予防のための意識づけ、生活習慣の確立を目指す。	49回 1266人 (51回 1,280人)
	(4)妊婦歯科健診	妊婦	う歯予防のための意識づけ、生活習慣の確立を目指す。	60人 (53人)

項目	事業名	対象者（児）	事業概要と目標	令和8年度計画 (令和7年度実績)
健康 診 査	(1)妊産婦健康診査 ①妊婦一般健康診査	全妊婦 (転入妊婦含む)	異常の早期発見により、妊娠中の健康の保持と安全な分娩、健康な児の出産のため、産後は産後うつ早期発見も含め、必要な健康診査の機会を確保する。 受診票を発行し医療機関で健診を受ける。 妊婦一般健康診査受診票の交付枚数を1人あたり14枚(多胎の場合、追加で最大5回助成)、超音波検査を6枚、産婦健康診査を2枚交付。	570人 (538人)
	②妊婦精密健康診査	妊婦一般健康診査結果、精密検査が必要な妊婦		21人 (22人)
	③産婦健康診査	概ね産後2週間・1か月の産婦		実546人 延856人 (実556人 延866人)
	④多胎妊娠の妊婦健康診査費用助成	多胎妊婦		3人 (2人)
	(2)新生児聴覚検査	出生後～概ね3か月児	受診票を発行し、主に分娩機関で検査を受け、先天性の難聴を早期発見、治療、療育につなげる。	522人 (522人)
	(3)乳児健康診査 ①1か月児健康診査	生後27日を超え、 生後6週に達しない乳児	発育、発達、疾病の有無の確認 (産科医療機関等)	546人 (503人 98.6%)
	②4か月児健康診査	生後4か月児	発育、発達、疾病の有無の確認 保健・栄養指導 月2回(年24回)	567人 (567人 98.3%)
	③10か月児健康診査	生後10～11か月児	医療機関委託 (市内7か所の小児科) 発育、発達、疾病の有無の確認	600人 (568人 99.6%)
	④股関節脱臼検査	4か月児健康診査時、精密検査を要する乳児	医療機関委託 (市内7か所の整形外科)	31人 (25人)
	(4)幼児健康診査 ①1歳6か月児健康診査	1歳6か月～1歳11か月	発育、発達、疾病の有無の確認 保健・栄養・歯科指導 月各2～3回	604人 (674人 99.7%)
	②3歳児健康診査	3歳児		704人 (781人 98.0%)
	(5)乳幼児発達健康診査	各乳幼児健康診査において発育、発達指導を要する乳幼児	発育、発達、疾病の有無の確認 保健・発達・栄養指導(月1回)	実110人 延127人 (実104人 延112人)
	(6)心理発達相談	発達検査・指導を要する幼児	発達の評価、助言指導	160人 (97人)
育 児 支 援 ・ 虐 待 予 防 等	(1)妊婦等包括相談支援事業 (伴走型相談支援)	すべての妊産婦及びその配偶者等	妊娠期から出産・子育て期まで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐことで、全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てできるようにする。 以下の時期に面談を実施し、アンケートの回答内容や子育てガイド・セルフプランを一緒に確認し、出産・育児等の見通しを立てる。 ①妊娠届出時、転入手続き時 ②妊娠8か月頃 ③赤ちゃん訪問時、4か月児健診時	598人 (553人)
	①うえるかむ面談	妊娠届出時または転入時に来所した妊婦		598人 (234人)
	②妊娠8か月面談	妊娠8か月前後の妊婦		554人 (546人)
	③はぐくむ面談	出生した乳児を養育している産婦		

項目	事業名	対象者（児）	事業概要と目標	令和8年度計画 （令和7年度実績）
育児支援・虐待予防等	(2)養育支援・スクリーニング ①スクリーニング	妊婦及び、乳幼児期の親子	妊娠届出時、新生児訪問、乳幼児健診時、問診票・アンケート・面接結果等総合的に判断し、育児不安・養育困難を抱え支援が必要な親子を要支援者としてスクリーニングする。	妊婦 596組 (553組) 新生児 554組 (563組) 4か月児 567組 (567組) 10か月児 600組 (568組) 1歳6か月児 604組 (674組) 3歳児 704組 (781組)
	②個別支援	養育困難にて支援が必要な乳幼児期の親子	①の要支援者に対し、支援目標・計画を立案し、訪問・電話・健診・面接・相談等の方法で支援する。育児不安・育児困難の改善、健全な親子関係づくりを支援し、虐待の発生予防を図る。	妊婦 30組 (32組) 新生児 52組 (50組) 4か月児 44組 (57組) 10か月児 43組 (52組) 1歳6か月児 37組 (46組) 3歳児 22組 (26組)
	③関係機関連絡	養育困難等にて支援が必要な家庭、他機関と連携することが有効と思われる家庭	支援を必要としている家庭を積極的に把握し、医療機関（養育者支援保健・医療連携システム事業）、子育て支援課（要保護児童対策地域協議会）、その他の関係機関と連携することで、早期に適切な支援に結びつける。または、適切な支援を行う。	※周産期養育者支援保健・医療連携システム事業対象訪問 60組 (58組)
	④養育支援研修会	乳幼児虐待予防支援事業に携わる職員	各事業および支援ケースへの養育支援に向けた職員のスキルアップを図る。	1回 17人 (1回 17人)
	(3)産後ケア事業	産後6か月未満の産婦と乳児	家族等から十分な家事、育児援助が受けられない母子が産科医療機関等に通所や宿泊をしたり、自宅に助産師が訪問し、心身のケアや育児のサポート等を行う。 ・市内産科医療機関2か所 ・市外産科医療機関1か所 ・北海道助産師会委託の8助産院	宿泊 310泊 日帰り 742日 訪問 132回 (実人数 186人) (宿泊 191泊) (日帰り 370日) (訪問 104回)
	(4)絵本ふれあい事業	乳児健診に来所した親子	市民ボランティア等による絵本読み聞かせ・紹介を実施。絵本をとおし親子のコミュニケーションをはかり、子どものこころの健やかな成長を培う。	4か月児健診 24回 (24回)
	(5)低所得の妊婦に対する初回産科受診料支援事業	住民税非課税世帯に属する妊婦又は同等の所得水準である妊婦	初回産科受診料を助成することで経済的負担の軽減を図るとともに、状況を継続的に把握し、必要な支援につなげる。	5人 (1人)
	(6)不妊治療費等助成事業	特定不妊治療と併用した先進医療を受けた妻の年齢が43歳未満である夫婦	特定不妊治療と併用して実施した先進医療の受診に要した費用の一部を助成し、妊娠を望む市民の経済的負担軽減を図る。	35人 70回 (48人 60回)

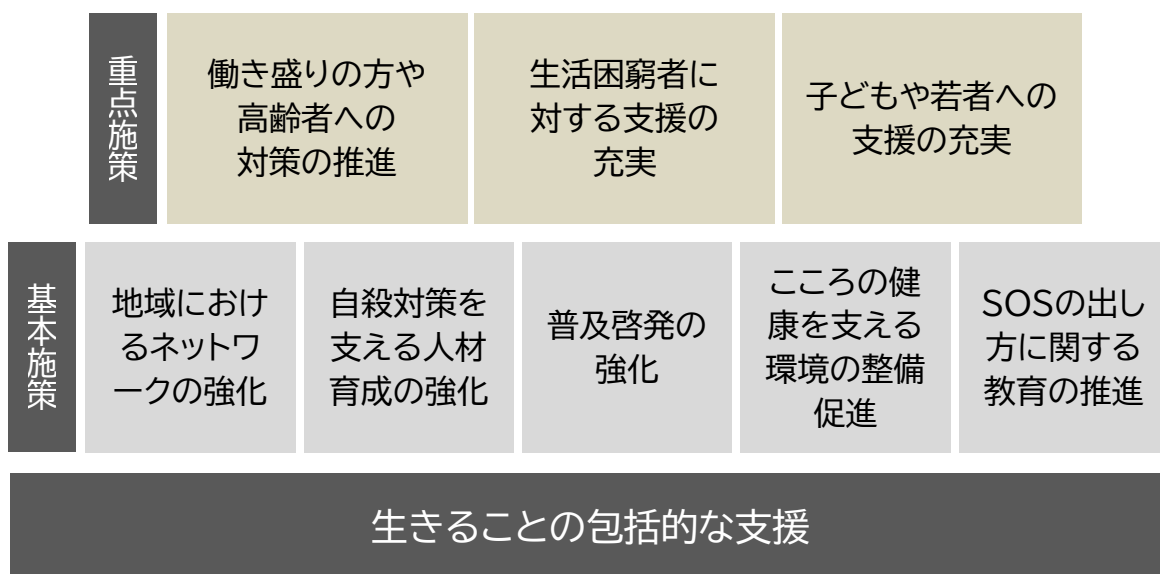
項目	事業名	対象者（児）	事業概要と目標	令和8年度計画 (令和7年度実績)
機関連携	(1)個別ケア会議	支援が必要な妊娠・出産・育児中の各期にある親と子	子育て世代サポートえべつが関係機関と情報共有・支援方針等を決定する会議を開催し支援に活かすとともに職員のスキル向上を目指す。	6回 延24組 (6回 延15組)
	(2)機関連絡調整	医療機関、子ども発達支援センター、保健所、子育て支援センターすくすく、子育て支援課、児童相談所、幼稚園、保育園、主任児童委員、読み聞かせグループ・ボランティア、各種ボランティア等		
予防接種	(1)予防接種関係者会議	医師会（予防接種担当医）		年1回 (0回)
	(2)ロタウイルスワクチン	1価 生後6週0日～24週0日	随時（予約制） 市内医療機関7カ所	904回 (964回)
		5価 生後6週0日～32週0日		360回 (192回)
	(3)B型肝炎	12か月未満		1,716回 (1,645回)
	(4)小児用肺炎球菌ワクチン	生後2か月～5歳未満		2,288回 (2,287回)
	(5)5種混合ワクチン（ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ・ヒブ）	2か月～90か月児未満		2,288回 (2,134回)
	(6)BCG	12か月未満		572回 (567回)
	(7)麻しん・風しん	第1期 12か月～24か月未満 ※R6年度対象児はR9.9.31まで接種可能		613回 (591回)
		第2期 5歳～7歳未満(次年度小学校入学の子) ※R6年度対象児はR9.9.31まで接種可能		872回 (792回)
	(8)水痘	12か月～36か月未満		1,226回 (1,174回)
	(9)不活化ポリオワクチン	2か月～90か月児未満		0回 (0回)
	(10)日本脳炎	第1期 6か月～90か月未満（特例措置対象者の20歳未満を含む）	随時（予約制） 市内医療機関7カ所 (13歳以上は24カ所)	3,292回 (3,240回)
		第2期 9歳～13歳未満（特例措置対象者の20歳未満を含む）		
	(11)ジフテリア・破傷風	11・12歳	随時（予約制） 市内医療機関12カ所	1,000回 (816回)
	(12)子宮頸がん予防ワクチン	小学6年生～高校1年生相当の女子	随時（予約制） 市内医療機関15カ所	594回 (882回)
	(13)RSウイルスワクチン	妊娠28週～37週の妊婦	随時（予約制） 市内医療機関7カ所 または市外医療機関	507回 (一回)

第2次江別市自殺対策計画に基づく取組内容について

1 江別市における自殺対策の課題

- (1) 働き盛りの自殺割合が高い/男性は高齢者の自殺割合が高い
- (2) 無職者・失業者の自殺率が高い
- (3) 若年層の自殺が増えている

2 第2次計画における基本施策と重点施策



3 第2次計画における主な取組

事業名	内容
ゲートキーパー※ 養成研修会	自殺対策を支える人材育成として、様々な対象に講義と演習等を通じて研修を行う。
こころの健康づくり講演会	自殺対策月間である3月にメンタルヘルスに関する普及啓発を行う。
相談先窓口一覧カード配 布・周知	様々な悩みや対象に合わせた相談先をまとめた相談先窓口一覧カード「ひとりじゃないよ」（一般向け、高齢者向け）を作成し、必要な方が手に取れるよう、公共施設等で広く配布する。
SNS等による啓発活動	市公式SNS等を通じて、自殺予防や悩みを抱えた人が相談できる場の情報提供を行う。

※ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のこと。特別な資格ではなく、誰でもなることができる。

自殺対策関連実施事業

事業名	令和 7 年度実績	令和 8 年度 実施計画
ゲートキーパー※ 養成研修会	4 回 ・ 9/9 大学教職員 35 名 ・ 10/22 職員（中級編） 27 名 ・ 12/4 職員（上級編） 15 名 ・ 1/22 職員（初級編） 21 名	4 回 120 名 ・ 大学教職員 ・ 職員（初級編） ・ 職員（中級編） ・ 民生委員児童委員
こころの健康 づくり講演会	1 回 ・ 市民 95 名	1 回 150 名 ・ 市民
出前健康教育 （メンタルヘル ス・ゲートキーパ ー※）	1 回 ・ 6/12 江別北地区民児協 22 名	4 回 100 名 ・ 地域の団体等からの依頼に 応じて実施
相談窓口一覧 カード配布・周知	・ 公共施設等 140 箇所に設置 ・ 庁内各課が行うイベント等にて配布 （消費者のひろば、認知症講演会、社会を 明るくする運動、蒼樹大学・聚楽大学等） ・ SNS相談先を加える等内容を更新、 二次元コードで読み取るラミネート カードを新たに作成	・ 公共施設等 140 箇所に設置 ・ 庁内各課が行うイベントに て配布
SNS 等による啓 発活動	・ 8 月 児童生徒の自殺対策 ・ 9/10～9/16 自殺対策強化週間 ・ 1 月 児童生徒の自殺対策 ・ 3 月 自殺対策強化月間	4 回
江別市自殺対策推 進連絡会議（庁内）	2 回 ・ 第 1 回：対面開催（7 月） 12 名 ・ 第 2 回：書面開催（12 月）	2 回（各 18 名）
生きることの包括 的な支援の実施状 況調査（庁内）	1 回（11 月）	1 回（9 月予定）

※ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のこと。特別な資格ではなく、誰でもなることができる。